

## 令和3年度協働事業振り返り確認シート

### < 基本情報 >

<b>事業名</b>	片上地区支えあい事業	
<b>協働事業者</b>	片上地区支えあい実行委員会	
<b>担当課</b>	危機管理課	
<b>提案年度</b>	令和3年度	
<b>目的</b>	災害時を想定した「声かけ名簿」作成してきました。この名簿は日常的な見守りをはじめ、地域の人々の連帯を深めるものです。いつまでも安心して暮らせる片上のまちをめざします。	
<b>事業内容</b>	<p>①新しく町内会長を迎え、愛媛大学鈴木静教授による「片上支えあいの歴史」と題した防災学び塾を7月21日開催しました。参加者は約30名でしたが、ビデオ撮影を行い、ユーチューブにアップし片上地区住民にはニュースを発行し視聴を促しました。</p> <p>②支えあいアンケートを愛媛地域福祉研究会に事業を委託して実施しました。これまで2011年、2016年と福祉と防災について調査を行い、災害時の「声かけ名簿」を作成・整理を行ってきました。片上地区の地域の変化や防災意識の向上を目指した10年目のアンケートを実施しました。</p> <p>③備前市防災行政無線 個別受信機の普及に取り組みました。日ごろの災害時には雨、風などの音で屋内では町内会の放送が聞こえないとの要望を受けて、啓発チラシの配布、広報紙での啓蒙活動、支えあいアンケート実施に際して再度申し込み書を配布・回収を行いました。</p>	
<b>役割分担</b>	<b>協働事業者</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事業計画書作成、実施</li> <li>②広報活動</li> <li>③安心安全な片上の地域づくり</li> </ul>
	<b>担当課</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事業計画書作成、実施</li> <li>②広報活動</li> <li>③安心安全な片上の地域づくり</li> </ul>

<協働としての振り返り>○片上地区支えあい実行委員会○

(1) 打合せ等を行い、お互いの意思疎通・対話は十分に行えましたか？

- 十分に行えた
- なんとか行えた
- あまり行えなかった

(2) 自らは、当初想定した役割を果たすことができましたか？

- 十分に果たせた
- なんとか果たせた
- あまり果たせなかった

(3) 協働の相手方は、当初想定した役割を果たすことができましたか？

- 十分に果たしていた
- なんとか果たしていた
- あまり果たしてなかった

(4) 協働での取り組みを、組織（事業者・担当課）内部で情報共有することができましたか？

- 十分にできた
- なんとかできた
- あまりできなかった

(5) 協働の取り組みにより、新たな出会いや発見はありましたか？

- 素敵な出会いがあった
- 出会いがあった
- 出会いがなかった

(6) 協働で行うことにより、この事業の効果は上がりましたか？

- 十分に上がった
- 上がった
- 上がらなかった

<協働としての振り返り>○危機管理課○

(1) 打合せ等を行い、お互いの意思疎通・対話は十分に行えましたか？

- 十分に行えた
- なんとか行えた
- あまり行えなかった

(2) 自らは、当初想定した役割を果たすことができましたか？

- 十分に果たせた
- なんとか果たせた
- あまり果たせなかった

(3) 協働の相手方は、当初想定した役割を果たすことができましたか？

- 十分に果たしていた
- なんとか果たしていた
- あまり果たしてなかった

(4) 協働での取り組みを、組織（事業者・担当課）内部で情報共有することができましたか？

- 十分にできた
- なんとかできた
- あまりできなかった

(5) 協働の取り組みにより、新たな出会いや発見はありましたか？

- 素敵な出会いがあった
- 出会いがあった
- 出会いがなかった

(6) 協働で行うことにより、この事業の効果は上がりましたか？

- 十分に上がった
- 上がった
- 上がらなかった

## ○片上地区支えあい実行委員会○

### (7) 協働してよかったと思えるのはどんなところですか？

#### ①事業の円滑な運営

防災学び塾を7月21日に市役所で開催しましたが会場の手配、運営がスムーズに行えました。この学習会は「声かけ名簿」作成のためのアンケート活動の大きな力となりました。

#### ②適切な助言をいただきました

福祉と防災のアンケートに関し危機管理課、地域包括支援センター、消防署から、アンケート項目や実施の方法について沢山のご意見をいただくことができました。

#### ③相互に連携ができました

防災無線個別受信機の普及は情報の伝達上大切な課題でした。アンケートの回収、整理が年度末にありながらも予算を確保していただき61世帯の追加申請ができました。

### (8) 役割分担どおりに「できた」「できなかった」のはどんなところですか？

事業の内容は沢山はありませんでしたが、お互いによく連絡を取り情報交換ができました。

### (9) —① 協働で行ううえでの課題はなんですか？

其々の目的に沿った密接な情報交換と相談、連携が大切と考えます

### (9) —② ①の課題を解決するために、どうしたらいいと思いますか？

同上に尽きるかと思います

### (10) 協働の相手方の評価として、特筆すべきところがあればご記入ください。

沢山の課題と業務を持ちながら、大変暖かいご配慮をいただきました。

### (11) 自由意見

コロナ禍の中で集うことができず、支えあい実行委員会も中止を余儀なくされたこともありました。住民の皆さんへの「福祉と防災」の課題での浸透がどのような認識か計れないところがあります。しかし、アンケート内容や回収率が高いことを踏まえればわずかながらでも前進しているのかと思います。また、当方は収入を得ることのない団体のため、自己資金については検討していただきたい

## ○危機管理課○

### (7) 協働してよかったと思えるのはどんなところですか？

コロナ禍でも感染対策を講じながら防災への取組、オンラインでの学習会やアンケート調査など、努力されている住民の方々を見ることができたことです。

### (8) 役割分担どおりに「できた」「できなかった」のはどんなところですか？

コロナ禍ではありましたが、オンライン学習会の会場設定や機器操作など、地区の要望には応えられた。会議の中止などにより地区内の課題に対し、解決への提案はできなかった。

### (9) ー① 協働で行ううえでの課題はなんですか？

大きな課題はなかったが、日ごろからの情報共有が大切だと思います。

### (9) ー② ①の課題を解決するために、どうしたらいいと思いますか？

事前の十分な打ち合わせや問題共有が大事だと思います。

### (10) 協働の相手方の評価として、特筆すべきところがあればご記入ください。

片上地区支えあい実行委員会の取組は、コロナ禍でも、協議を止めることなく工夫して行っていた。今後も地区内での様々な問題を調査・情報共有し、解決に取り組められると思います。

### (11) 自由意見